

地域×元氣!

地域おこし協力隊

新見の民謡を後世に

市内に残る民謡を調査、発掘してアーカイブ化し、広く認知してもらうとともに、後世へ継承していくことを目的に活動している造酒耕平隊員。

「アーカイブ化」とは、カセットテープなどのアナログの音源を長期間安全に管理、保存するためにデータ化することです。

4月1日に着任してから、旧町史や民俗資料を基に地域の民謡を調査研究するとともに、実際に歌い手や当時を知る人へのインタビューなどを通



民謡音源を専門業者に手渡す造酒隊員



イベントで三味線を弾く造酒隊員（左上）

して、市内に残る民謡の掘り起こしを行っています。

そして、活動開始から2カ月が経った6月。集まった64本のカセットテープやオープンリールテープを持ち、埼玉県の専門業者にデータ化を依頼してきました。

データ化には数カ月かかるとのことですが、当時の情景が色濃く残る民謡が、データという形で帰ってくることが、今からとても楽しみです。

「民謡は曲調が一緒でも、地域によって歌詞が違うなど、その土地の暮らしぶりを色濃く反映している。地域の歴史として、後世に伝えていきたい」と造酒隊員。地域に残る民謡をご存じの人は、ぜひ情報をお待ちしています。

【問い合わせ先】 移住・定住推進課 ☎6114